

# *CIVILIZINE*

**11**  
2024

*CIVILIZINE*



CIVILIZATION × ZINE  
**CIVILIZINE**

P02-03	文明学科ってどんなところ？
P04-05	目次
P06-15	学生のライフスタイル「dig@students」
P16-25	文明学科の先生紹介「さらに！ dig@professors」
P26-27	学科関連イベント「文明のイベントは“広い”」
P28-29	文明学科開講授業ポジショニングマップ
P30-31	編集後記・クレジット





### まい(3年)

趣味は散歩や植物を育てること、絵を描く事、YouTubeを見る事。それ以外にも好きなことは沢山あります。興味が散らかっているのでまとまりはありませんが、そのおかげで日々楽しく過ごしています。たまにスマホ禁止、地図禁止で散歩したりしています。人の流れに乗って見たら素敵なお店に辿り着いたり、行ったことのない道に迷い込んでみたりと新しい発見があり、おすすめです!

### 松下(3年)



本・映画・音楽とかの媒体は広く大体好きで、中でも最近では特に短歌とかアヴリル・ラヴィーンとかが好きです。あとファッションも好きだから服買ったり、(常識の範囲内でタトゥー入れたり)して散財してます!インドアめで可愛いものも好きなので、自室にシルバニアとかちまちましたものを羅列してます。

### こまち(3年)



推しは、松竹芸能の芸人さん、ちゃんみな、楽天イーグルスの選手!  
趣味は、お笑いライブ鑑賞、おしゃれすること、原宿に行くこと、野球観戦(楽天メイン!一軍もファームも見ます)

### ユウカ(3年)



私は旅行と映画、カフェでぼーっとすることが好きです。大学1年の時には、友人に会うために北海道や東北を訪れたり、青春18きっぷを使って神奈川から大分までひとり旅をしたことが良い思い出です。普段は、映画館で映画を観たり、カフェでぼーっとしたり考え事をする時間が好きです。

## 学生のライフスタイル dig@students

不思議な名前の文理学科。  
ここには一様には語るの  
できない学生たちばかり…。  
今回はそのほんの一部を  
お見せします。

### プロフィール / 好きなこと・推し・趣味について

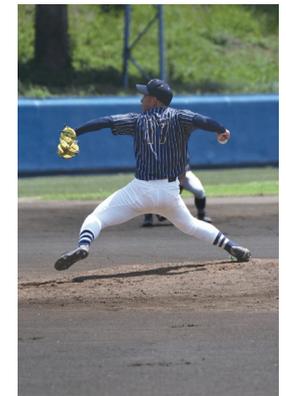
### 加藤 慧(3年)

趣味は、旅行と読書と好きなバンドのライブです。旅行は大学生活のうちに47都道府県を制覇しようと考えていて、残すところあと10県なので休みの時間を使って旅行しています。9月には沖縄と九州1周をします!読書は遠征などの移動時間を使い文芸書を読んだりしています。知らない言葉を調べている時が楽しいです。また、好きなバンドのライブはRADWIMPSやYOASOBIのライブも年に数回行っています。



### 森木 光汰朗(4年)

サーフィンをするのが好きで、  
神奈川に来てからは毎年江ノ島や鶴沼に行く。





### フジワラ(4年)

僕の趣味は、自然の中でリラックスできるキャンプと、推しのライブに行くことです。キャンプでは、焚き火の温かさを楽しみながら、日常の喧騒を忘れてリフレッシュしています。また、ライブに行くことも大好きで音楽の力強さや会場の一体感に胸が高鳴ります。好きなアーティストの演奏を目の前で聴くことで、日常のエネルギーをもらっています。キャンプと音楽、どちらも僕にとって欠かせない大切な時間です。

### 優樹(1年)

私は小学生の頃からスポーツをやっており、その影響で様々なスポーツの観戦であったり、実際に行う事がとても大好きです!



### PJ(3年)

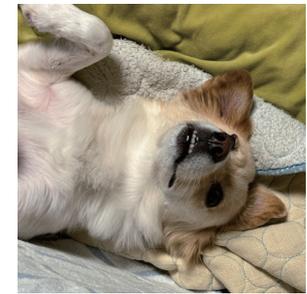
私の好きなことは写真を撮ることです。人生初のカメラを手に入れた後、私は新しい世界の扉を開けたように、しかも湘南キャンパスはとても大きく、環境もとても良く、学校の周りの自然風景もとても独特です。スマートフォンで直接撮影するよりもカメラで撮影した景色の方が記念になるので、これも私がずっと続けてきた考えの一つです。



アニメ見ること・吉沢亮

### ぬ(3年)

料理・お菓子作り・歩くこと



うさぎもち(3年)

### あかね(3年)



趣味はアニメ鑑賞です。最近は、Dr.STONE にハマリ、これから始まる3期がとても楽しみです。色々なジャンルのアニメを観るので、推しがどんどん増えてグッズに貢ぐお金が膨れ上がる事が悩みです。

### すし(4年)



よさこい、マーベル(映画)、ゲーム、プロ野球

### 暖華(3年)



音楽・ゲーム・動画鑑賞(韓ドラ、アニメなど)  
・推し活(坂道グループ、特に櫻坂)



松下(3年)

自分がいろいろ持ち歩きたいタイプなので、肩は破壊されるけど基本大きい鞆の中に入れてます。講義のもの以外で欠かせないものは手帳とイヤフォン、あと可愛いもの!最近ペンケースを変えて、ぬいぐるみみたいで気に入ってます。手帳はアナログでスケジュール管理がしたいから。あとは登下校の時間が長めなので、音楽を聴くイヤフォンは絶対いるかもと思ってます。

PC・本・無印良品のホッチキスを持ち歩いています。PCは、課題や資料管理には欠かせません。本は、電車で通学の時間に読みたいと思いい、一冊はカバンに入れています。無印良品のホッチキスは、コンパクトで筆箱に入るサイズなのでレポート提出の際に便利です◎



ユウカ(3年)

フツフツラ(4年)



僕が愛用しているのは、TIGER製のマイボトルです。大学生活ではコンビニや自販機などで、お菓子や飲み物を買う機会が増えます。一日にドリンクを何本も買ってしまおうと出費が多くなってしまいます。そこで、マイボトルを用意することで節約を意識するようになりました。この水筒は、お茶だけでなく、炭酸にも対応しているものなので炭酸水を入れることもでき、非常に便利です。



すし(4年)

学生証。身分証にもなるし、色々なお店で学割を利用できるから。まねきねこのまふとか。

大学生活で欠かせないものはノートパソコンです。それは私の学習の主要なツールであるだけでなく、カリキュラムの宿題、資料の検索、研究を行うのにも役立ちます。また、その携帯性により、キャンパスのどこでもタスクを完了することができます。このように科学技術が発達した現代社会では、私たちの学習効率とレベルを高めることができます。と思っています。



PJ(3年)

大学には必要最低限の荷物しか持っていないスタイルだから基本的に文房具と必要な時だけパソコン!って感じですが!だからあまりこれといったお気に入りのものはないけど、大学生活するならパソコンはまじで欠かせないし、学校頑張れるように気分が上がるお気に入りのアクセサリをつけていたりしてます!



しずく(3年)

仲間



森木 光汰朗(4年)

うさきち(3年)



夏場は  
ハンディファン。  
暑いから。

# 大学生活で 欠かせない 持ち物



メイクポーチ!顔面工事大事です。せめてリップとくしは必需品です。

ぬ(3年)

大学で授業をしている人であれば多くのプリントの保存の仕方が粗末になっている人も多いと思います。そのために私はプリントを授業ごとに分けてファイルに入れているためプリントを無くさず、テストに集中することが出来ました!

優樹(1年)



ヘッドホン。1人の世界に入り込める。友達と授業を受けたり、話したりするのもいいけど、たまには1人で音楽をつけながら大学内を探検するのもおすすめ。

暖華(3年)



加藤 響(3年)



パソコンは、資料を作るのにも、課題をやるのにもパソコンが欠かせません。毎日、触りすぎてブライントタッチも出来るようになってしまいました。ホットアイマスクは、見える世界が変わります。最近はポケモンの柄が出て、お気に入りです。



まい(3年)

- ・腕時計  
時間はスマホでも確認できますが、腕に時計があるとふとした瞬間や授業中にも便利!着けていないと落ち着かない。
- ・イヤホン  
通学に2時間程度かかり、その際にいつもお気に入りの曲を聞いているためイヤホンは必須!
- ・たたかうマヌカハニー  
のどが弱いのでほぼ常備してるのど飴。喉が痛い時や、集中したい時に重宝しています。

あかね(3年)

ワイヤレスイヤホン。私は自宅から大学に通っており、通学時間が1時間半と長いので、音楽や動画を聞いてテンションを上げる際の必需品になっています。



### PJ (3年)

今回の夏休みまでは飲食店でアルバイトをしていましたが、ここ数ヶ月の職歴の中でお客様とのコミュニケーションを重視し、迅速で丁寧な対応を心がける必要があることに気づきました。この経験を通じて、私は問題を解決する能力とチームワークの重要性を学びました。忙しい時間帯でも冷静に対応でき、効率的な働き方やストレス管理能力が向上します。社会人としてのマナーや責任感を養い、自分の成長を実感しました。

### うさきち (3年)

バイト

### 加藤 慧 (3年)

体育会ソフトテニス部  
関東学生ソフトテニス連盟 理事長  
授業以外では、体育会ソフトテニス部で週5日湘南キャンパスのテニスコートで活動しています。それ以外には、関東学生ソフトテニス連盟というソフトテニスの連盟の仕事で部活と兼任して関東学連の理事長もやっています！

### 暖華 (3年)

テニスサークル

### すし (4年)

よさこいサークル、  
居酒屋でのアルバイト

### まい (3年)

私の生活の中で大きな割合を占めているのがバイトです。1ヶ月だけのつもりで始めた遊園地スタッフのバイトが気付けば3年目に入っていました。人間関係や、理不尽なクレーム、体力仕事である事など辞めたい理由は沢山ありましたが、それ以上に「ありがとう」「楽しかった」といった言葉が直接届き、笑顔に囲まれたやりがいのある仕事で今でも続けています。

### あかね (3年)

バイト。主な使い道は、推しのグッズや旅行、自分磨きになっています。たまに自分にご褒美として、少しお高い物も買うことができるくらいになった所は大人になったなと思いました。

### こまち (3年)

バイトは1年生の終盤から居酒屋で楽しくやっています！あとは原宿ファッションを広めるために原宿のいろんなイベント参加しています！(NEO デコラ会など調べてくれたら出てくるはず！)

## 授業外での活動・励んでいること

### 松下 (3年)

基本バイトで、母校の小学校の学童補助のおねえさんの様な仕事をしていて、メンコとかで競い合ったりしています。サークルは入ってないんですけど、小さい頃から盆踊りが大好きで地元の自治体の盆踊り団体に所属して、お祭りではヤグラに上がって踊っています！

### 優樹 (1年)

私は大学に通いながらバイトを頑張っています。私は高校生で運動を辞めてしまった分時間ができているので、そんな時間を無駄にしない為にもバイトに励んでいます。また授業で出た課題を友人と必死に解いたりしています！

### 森木 光汰朗 (4年)

硬式野球部に所属している。  
私生活から常に野球に繋がるように規則に従って生活している。

### ユウカ (3年)

最近、友人と週1で朝活を楽しんでいます。朝の時間を充実させたい思いから始めた朝活は、他学科の友人たち数人と朝に集まって個々の課題をしたり、おしゃべりをして過ごしています。公式的な活動ではないですが、朝のわずかな時間を友人たちと過ごすことで、精神の安定につながっているように感じます。

### フジワラ (4年)

大学の授業外では、サバイバルゲーム(サバゲー)サークルに積極的に参加しています。この活動を通じて、仲間と協力することの大切さや瞬時の判断力が鍛えられました。また、サバゲーは体力を使うため、自然とフィットネスにもつながり、健康維持にも役立っています。さらに、自分の興味がある分野でのインターンに参加することで、将来やりたいことや目指したい方向性を見つける手助けとなりました。

### ぬ (3年)

バイト

# 大学生活における モチベ・マインド・マイルール

毎日まじめにコツコツと…と言いたところですが、僕がこれまでの大学生活で心がけていたモチベやマインドとして、「迷うならやってみる」という選択をすることを大切にしてきました。自分自身の世界を広げるために、内容は分からないけどちょっと興味のある自学科や他学科の授業を取ってみたり、サークル活動に参加したりしました。この姿勢が新しい経験や学びにつながったと感じています。

**フジワラ(4年)**

私の日々の生活におけるマインドは『迷ったら楽しい方へ、困ったら苦勞の多い方へ』です。大学生は、何よりも自由で自分で決定できるので、妥協せず楽しく後悔のない人生を目指して生きていこうと思っています！

**加藤 慧(3年)**

明確なものはないけど、自分的には何事にも程々にちゃんとやるっていうのを意識しています。あとずっとじゃないけど、笑顔でいること！常に気張らず、でもやるときはやるみたいな感じが自分も周りも楽しくやってけるかなと思っています。

**松下(3年)**

大学生活では、好奇心と健康を大切にしています。興味があることは自ら調べたりイベントに参加したりなど、自分の好奇心を尊重するようにしています。また、睡眠時間が短いと気分が下がるので、睡眠時間を削らないよう無理をしない程度のスケジュールを設定して、マイペースに生きています。

**ユウカ(3年)**

奨学金、友人、  
うさぎ(3年)

大学生活の中で私が最も重要だと感じているのは、まじめな学習態度だけでなく、探求欲に満ちた学習意欲も必要だ。このような欲求は学習だけでなく、新しい学生グループの中で新しいパートナーを見つけるのにも役立ちます。大学は自由だからやりたいことは十分できるが、そのような探求欲が必要であることが前提だ。

**PJ(3年)**

まずは周りに流されない！そしてやっぱり見た目で判断されがちで「不真面目」とか「頭悪そう」とか偏見受けることも超えるけどそれを黙らせるくらい課題とかテストに全力で取り組んで見た目で人を判断していけない、個性の重要性を自分の行動をもって示したいという部分を大事にしています！

**こまち(3年)**

バイトして遊んで卒業!!  
ぬ(3年)

課題に取り組む際には、音楽やYouTubeの動画を聴きながら行う事が多いです。やり始めれば、終わるまで集中する事ができるので、bgmを流す事をやる気に繋げるマイルールになっています。

**あかね(3年)**

学校が終わったらすぐに帰る。

授業を週一どこかは入れない。

**暖華(3年)**

・大学生活におけるモチベは友人。

私の場合は私以上に学びに対してストイックであったり、興味関心に素直な人、自分に芯を持っている人が多く、そういった友人に囲まれ自分も頑張ろう、楽しもうと思っています。

・自分の機嫌を取る！

マイナスなことがあった時、カフェで一息ついたり、美術館に行ったり、絵を描いたり、友人を頼ったりしています。どうしてもマイナスな出来事は起こるのでそれを消化する方法を持っておく事を大切にしています。

**まい(3年)**

とにかく自分の好きな事をやれること！大学に入る前から好きだったことや、大学に入ってから好きになった事などを大学では自分で時間を作り取り組むことができることが私のモチベーションになっています。もちろん高校生の時の友人などとはほとんどが違う大学ですが、そんなことを感じさせないような友人が大学では沢山できるところも大学のモチベーションになっています！

**優樹(1年)**

授業に積極的に参加し、  
単位を必ず取得する。  
部活にも一生懸命励む。  
森木光汰朗(4年)

モチベはサークル活動に参加すること。よさこいサークルで活動していて、たくさんの仲間と踊ってストレスを発散させている。

**すし(4年)**



Q. 関心のある研究や分野

A. 哲学・美学。日本の美をいかにして海外に伝えていくかに関心があります。

# TAKASHI HASHIMOTO



Q. 出身地

A. 兵庫県神戸市

Q. 学生時代の自分について

A. 大学生時代前半はテニスのサークル活動に没頭。後半になってやっと哲学の勉強を始める。

# TAKASHI HASHIMOTO

Q. 専門を志したきっかけ

A. 考えることが好きだったから

Q. 人生のターニングポイント

A. 高校時代。思い悩むことが多かったから

Q. 人生のモチベについて

A. これまであまり明確にされてこなかった日本の美を、西欧との対比の中で明確にし、伝えていく。

Q. 大学教員や研究職になつていなかったら

A. 医者

Q. 人生のターニングポイント

A. 割と流れて生きていたところがある。今は就職して生活が安定しちゃったから、研究して本を書くとかが目標になってきたけど、学生の頃はアルバイトしてたし、その日暮らしない感じでしたよ。

1番面白かったのが、CMや舞台美術の大道具。経験を積んでいくと上手くなって楽しかったです。ドイツ留学前はそれでお金稼いだりしていました。その頃はほとんど研究してないので、結構忙しくて徹夜で仕事とかしてましたね。



Q. 関心のある研究や分野

A. 哲学が専門で、フッサールという哲学者の研究をしています。現象学という哲学を創始した現代哲学では割と有名な人で、テーマとしては“時間の問題”。彼は時間の問題についていろいろ哲学を残していて、それを研究しています。

Q. 人生のモチベについて

A. まずは、研究で目標立ててまとめたい。ただ、それが強い動機になるかという点で、週末の飲み会とか、その方が元気が出るかも。でも研究をまとめて、本を出したいなと思っているんですけど、道のりが長いんですよね。



# 村田 憲郎

Q. 出身地

A. 福岡県の久留米市。筑後川っていう大きな川の流域に位置していて、くるくる蛇行するから久留米って言うらしいですよ。

Q. 専門を志したきっかけ

A. 私は、哲学に漠然と興味があつて。1浪しているんな本を読んだ時、哲学に興味が出て、大学に入ったら勉強しようと思った。3年でゼミに入るから、その時に哲学や思想の先生に就いて。フッサールという人は、現代思想や現代哲学と伝統的な哲学の境目にいる人なんです。だから、フッサールを勉強したいですよって、それから研究をしています。



Q. ロールモデルについて

A. 哲学者のことって考えると暗くなっちゃう。(哲学者が)何歳にこの本出しているとか見ると、自分が何歳の時に...とか思ったり。でも一応目安にはして、最後のチャンスがカント。天才型のニーチェとかは20代に有名な本を書いているけど、私が勉強しているフッサールは、どちらかというと大器晩成型。それでも40~50歳で本を書いている。だから残ったチャンスはカントなんです(笑)50歳代の後半で本を書いたから、私もその歳までに単著を出せたらなと思っています。



# ヨシダテルキ

## Q. 専門を志したきっかけ

A. 高校の世界史の教科書は中南米の部分がとても少なく、世界史と言っている割に教科書は世界のことを教えてくれない。時間的制約もあるけど、世界には様々な人がいて、その中で無視されてきた人たちがいることを思いました。興味を持った最初のきっかけかなと思います。

その頃、「大アンデス文明展」という展覧会があって。確か、90年に横浜そごう美術館で。世界史では語られてない文明が今でも調査されているのを知って、やりたいと思い、それを基に大学も考えました。世界史でも研究されていないことに興味が湧いたんです。



吹きボトルの音を人々がどんなふうに聞き、何を感じていたのかに興味があります。でも、昔の人は語ってくれないので、土器作りを見て研究し

ています。また、形や扱い方にも違いがあります。その研究もしています。A. 自分の中で目標がありますが、常に思っているのは、古代のことをやっていますが、現代との関わりを持っていたいと思うんです。だから、ワークショップや企画展示をしています。現在との関わりや直接的な社会還元を重視しながら研究活動を行っています。

## Q. 出身地

A. 横浜。幼稚園前には、北海道に住んでいたことも。

## Q. 人生のターニングポイント

A. 「大アンデス文明展」に行き、こういうことを勉強できる大学行こうと思ったのでそこかなあ。

## Q. 関心のある研究や分野

A. 専門は中米と南米の先スペイン期の古代文明。中米は、メキシコで、今は堅坑墓と呼ばれるお墓の調査をしています。現地の研究者との共同調査で、向こうの文化庁から許可などをもらうために私が縁のあるミチヨアカン大学と協定を結んで調査をしています。

## Q. 人生のモチベについて

A. 少しでも自分で上に行きたいなとか、できないことを少しでもできるようにするとか、そういうことで動いているのかなと思います。自分の幅を広げていく事がとても大事だと思います。

新しいことにチャレンジして調査するとなると、いろいろな事に詳しくないといけない。それで自分でX線CT撮影をやってみたり、ドローンの資格を取って飛ばしたり。1つ1つチャレンジしている事、それが日々のモチベーションですね。

## Q. 関心のある研究や分野

A. アンデス先住民の歴史・社会・文化、そして「大地/自然の論理」で生きる人々に大きな関心を寄せてきました。私たちは、近代国家の秩序の中で人生を送っています。その秩序の歴史は、200年ほどに過ぎず、人類600万年の歴史の中の0.0001%以下の時間です。地球に生きる人間は、いったいいかなる存在なのか、「大地/自然の論理」でうごめく社会にこそ人間の「真性」があるのではないかと、こういう問いかけが関心の基盤になっています。

これまで、35年以上にわたって、アンデスのインカの遺跡調査、歴史文書の調査、民族誌調査などを手がけてきました。それらを基に、この4年ほ



Q. 出身地  
A. 岩手県の最北端にある二戸市です。

どは、15-17世紀におけるアンデス先住民とイベリア半島のヒターノ（「ジブシー」）との歴史的接点を追っています。両社会共に、当時の政治・宗教的秩序、そして近代国家の秩序から排除されてきた人々です。その秩序からみれば、彼らの重要性は極めて低い。

そうした両者が接触し、「大地/自然の論理」が共有され、影響し合い、すばらしい芸術・歌・踊り・多様な慣習が再構築されてくると考えれば、資本主義や国家秩序の論理を超えた、本来の文化のダイナミズム・本来の人間のダイナミズムが豊かに捉えられるように思っています。

## Q. 人生のモチベについて

A. 「本当のこと」の追求、そして優しく謙虚な人と時を過ごすことです。

## Q. 大学教員や研究職になっていなかったら

A. 僕は、ジャーナリストになる寸前だった。それと、美術館に勤めたこともあります。あと、やっぱり第1次産業関連かな。自分がダイレクトに自然を感じて生きる……これはかなり素晴らしいんじゃないかな。

## Q. 専門を志したきっかけ

A. 元々、アンデス先住民への関心が強くあったんです。きっかけは、中学の頃にアンデスの音楽を耳にし、こんなきれいな音楽を奏でる人々のことを知りたいと思うようになったんですね。それが、大学に進学した理由です。単純に、アンデス先住民のことを知りたいと思ったんです。

ところが、〇〇学という学問分野に分かれていた大学のことなど深く知るはずもなく、とりあえずメディアに取り上げられるインカの遺跡等に影響され、考古学に最初に手をつけちゃったんです。



# 中西 雄二

YUJI NAKA  
NISHI  
GEOGRAPHY



## Q. 出身地

A.大阪の茨木市。学校行事や部活の新歓が万博公園であったので、太陽の塔が地元って感じですね。

## Q. 専門を志したきっかけ

A.小さい時に家族と旅行するのが好きで、地域の名物や地理的なものに興味を持ち、大学では地理学専門のコースに入りました。

人の移動に興味を持ったのは、都市空間って様々な人やものがあるって、横浜のようにいきなり人口が増えて、何百万人の住む街になるのが面白いなと思っていて。それは、そこに住む子どもが大きくなったとかではなく、周辺から人が来て街が大きくなったり、街の雑多性が面白いなと思い、研究しようと思ったんです。当時は関西にいて、新しいけど大きな街が神戸だったので、大学ではそれについて調べようと思ったのがこの分野に興味を持ったきっかけですね。

## Q. 人生のモチベについて

A.僕の研究は、広い意味でマイノリティー研究。他地域からの移民やそうした傾向がある人たちの社会的な処遇や社会での順応過程を研究していますが、社会が複雑化していく中で、誰もがマイノリティになり得るわけです。ある場面ではマジョリティーでも別の側面ではマイノリティの人もある。それが意味、都市空間や現実の社会であり、マイノリティの人たちの処遇を助けることは重要と思っているので、地域間も社会的格差も含め、自分の研究がどこかの部分で貢献できればいいと考えてやっています。

## Q. 関心のある研究や分野

A.人文地理学。中でも文化や社会と地域の関係を見る文化人類学や社会地理学が専門です。

基本的に移住者や移民が研究対象で、広い意味での人の移動とそれに伴う文化・社会の移動みたいなことに興味があって専門で研究しています。最近では、沖縄や奄美など国内での移動の研究がメイン。具体的には、経済的な活動が多いです。就職や労働力としての移動の事例が多く、それが基本的な研究です。でも、先行研究が地理学だけでは限られてしまうので、民俗学や人類学、社会学などのつながりがある分野も引用しています。

## Q. ロールモデルについて

A.研究者としては、指導教員が地理学者であると同時に民俗学でも重鎮みたいな人だったので、その影響も研究では受けていると思います。

## Q. 人生のターニングポイント

A.大学や大学院に進んだ時というより、むしろ東海大に就職したタイミングじゃないですかね。初めて関西を出たので。それまでは関西を中心に研究していたんですけど、関東の事例も調べ始めたり...

## Q. 人生のモチベについて

A.公私を完全に分ける。私を大事にしながら公をできるように。旅行はフィールドワークがてらに行くことが多く、ついに行くことが逆にモチベーション。あとは、難民たちの力になることや次世代のサポート役とか、若い人と研究を一緒にできればなど。

## Q. 人生のターニングポイント

A.人生で何回かあって、学部時代と留学を決めた時。(博士課程で)北海道大学に行ったことで、私の人生だいぶ変わったと思います。あと学位をもらって2年間ポスドクをした後、日本に残るか悩んで、全部片付けて韓国に帰ったんですよ。それで4年間韓国で非常勤とかしながら、また日本に行きたいなと思って。人生、私こそ移動しながら生きているっていう。そういう決心をする時にすごく悩むけど、自分の判断を信じて実行する。後悔もあつたけど、だからこそ今がある。なので、行ったり来たりした時それぞれがターニングポイント。

## Q. ロールモデルについて

A.研究者としては、博士課程の指導教員。今でもフィールドワークをやっていたり、いろんな学生の面倒を見ていたり、自分の仕事もちゃんとやっているから。トータルでは、子育てしながら研究もしている友達。同じ研究室だった1つ上の先輩は、今や家族よりも連絡をとる仲間。彼女は、大学や外部の仕事もこなして、すごいなど。

## Q. 出身地

A.韓国の釜山です。

李 賢京  
이 현경

## Q. 関心のある研究や分野

A.専門は宗教社会学。社会学の畑で宗教をテーマに社会学の理論に基づいてやっています。宗教社会学と言っても様々なテーマがあって、私は、人が移動する際の宗教の役割に興味を持っていて、日本に住む外国人たちの宗教施設を中心とした信仰生活や日本国内の移住の際に頼りになるのは何なのかということに宗教を中心にしています。

## Q. 専門を志したきっかけ

A.学部3年の時は通訳や翻訳の仕事がしたくて考えていたけど、4年の時に指導教員のフィールドワークに連れて行ってもらい、韓国にある日本の宗教に関する調査でインタビューをしたり宗教の集会に参加してみたら、新鮮で面白いなど。4年の後半になってからはもっと勉強がしたくて。その先生が宗教の専門だったから宗教についてやりたいなと思って、修士課程に行って修論で韓国の天理教について調査をしました。調査はすごく楽しくて、研究職を目指したいと思い、日本の先生を紹介してもらいながら博士課程に進みました。

LEE HYUNKYUNG



SOCIOLOGY OF RELIGION

- 文明学科の7人の先生から -  
在學生・文明学科を  
考えている人へ

## 橋本 崇 先生

なるべくいろいろなことに興味を持ちつつ、  
深く考える習慣を身に付けてほしい。

## 吉田 章晃 先生

好きなことを一生懸命やってください。そ  
れだけです。大学に入れば、特に文明  
学科では何でも研究になるんだよね。本  
当に好きなことを研究すればいいわけ  
あって。好きな事をやらないと生き生き  
しないですよ、人間は。なので、好きな事  
をやって、生き生きしてほしいなと思  
います。

## 平野 葉一 先生

様々な学問があるけど、「人間のやっている  
こと」を見られる・見ようとする学問は、文化・  
文明に関わる学問だと思うんです。我々は、い  
ろんな知識を身につけて明らかにして、役に  
立てることができるけど、それを人間はどう  
するのかという問題がいつもくっついてくる  
わけで、それが自分の価値観になる。そう  
いう意味で文明を学ぶということは、人間の歩  
みを学ぶことになる。そうすると、文明学科の  
学問って非常に大事なんじゃないかと思  
います。文明学科にいる学生は、それを理解して  
自分のアイデンティティにしてほしいです。

## 村田 憲郎 先生

いろんなところでも言われているかもしれませ  
んし、いかがなものと言われるかもしれない  
ですけど、やっぱり好きなことをやってくれたら  
いいかなと思っています。好きなことを追求  
してくださいって感じですよ。そうじゃないこ  
とを言う人もいますが、とにかく働けば良い  
とかね。でも、つまらないなって思うんです。  
なので、好きなことをね、してほしいです。

## 大平 秀一 先生

幼い頃から、あれをしちゃだめ、これをしちゃだめ。確  
かに他者への迷惑はいけないわけですが、現代社会  
の秩序(の網の目)の細かさには、おそらく誰もが息  
苦しさすら感じているように思います。心の引き出し  
のどこかには、「自由なる私」を収めておきたいもの。  
その獲得には、教養を深めることが大前提になるで  
しょう。人文系の学問を学ぶ意義は、まさにそこにあ  
るはず。みなさん、たくさん本を読み、楽しく考  
え、本当に大切なことを見出して下さい。

## 李 賢京 先生

周りに関心を持ちましょう。周りを見ましょう。  
知識じゃなくて、起こっていることにアンテナを  
張って広い視野を持って、自分で見てほしいな  
と思います。

## 中西 雄二 先生

文明学科は、裾野が広く学べる学科なので、  
やりたいことを決めている学生は、専門的な  
研究者とコミュニケーションをとることも授  
業を受けることもできるし、まだ決まってい  
ないけど何かやりたいことがある人ならば、幅  
広く勉強することもできるので、カリキュラム  
をうまく利用してもらえれば、在學生も新入  
生の人にとっても、大学での勉強に不安や迷  
いがある人も含めて入りやすいところかな。

### Q. ロールモデルについて

A. 自分がそうでないから思うのかもしれないけ  
ど、さわやかに行動できる人。こう言ったらこう  
思うだろうとか考えず、さわやかにいきたい  
なっているのが目標。

### Q. 人生のターニングポイント

A. フランスで学位を取った時かな。自分のやっ  
ていることでご飯が食べられそうだと分かって  
きた時だから。

YOICHI HIRANO

# 平野 葉一

### Q. 出身地

A. 川崎で生まれ、横浜で暮らしています。



### Q. 関心のある研究や分野

A. 数学の歴史や文化との関わりをやっています。  
文学部に来てもう20数年になるけど、学生  
と一緒にできることとしてレオナルド・ダ・ヴィン  
チを始めたので、今はそれに関わる数学のこ  
とをまとめようかと考えています。ここ8年くらい  
環境QOLをテーマにして研究を続け、国際会議  
などで発表しています。

### Q. 専門を志したきっかけ

A. 大学の合格発表がある春休みに住んでいる  
町の小さな本屋に数学史の本があって、それを  
手にして「ああ、こんな面白い世界があるんだ」  
と思い、数学史をやりたいと思ったんです。

同時に、エヴァリスト・ガロアというドラマチックな人がいて、20歳で決闘で死ぬんだけど、彼の考えたガロア理論がその後いろんなことに関わっていく。けど、それが理解されずに死んだフランスの数学者、この人のことを面白いなと思って。それが数学史と結びついてやりたいなと思ったのがきっかけですね。あの本に出会ってなかったらやっていなかったかもしれないですね。

### Q. 人生のモチベについて

A. 難しいところかもしれないけど、何かを明らかにしたい気持ちはあると思う。それが一番大きい。だけど、明らかにすることは、必ずしも人のためになることが分からないけど。研究を始めた当初は、そんなことは考えないでとにかく何か明らかにしたいと思っていた。現在は意味があるかどうかは確認すべきと考えている。でも、人の役に立つかどうかそこまでは意識が回らないかも。



西

環境と文明 春

関連授業

現代環境論 / 現代環境論の諸相 / 現代環境論の展開

ジェンダーと文明 秋

関連授業

ジェンダー論 / ジェンダー論の諸相 / ジェンダー論の展開

社会と文明 秋

関連授業

現代社会論 / 現代社会論の諸相 / 現代社会論の展開

哲学概論 A・B 春 秋

関連授業

なし

地域と文明 春

関連授業

地域文明論 / 地域文明論の諸相 / 地域文明論の展開

ヨーロッパ思想と文明 秋

関連授業

ヨーロッパ思想 / ヨーロッパ思想の諸相 / ヨーロッパ思想の展開

比較思想と文明 秋

関連授業

比較思想 / 比較思想の諸相 / 比較思想の展開

民俗と文明 秋

関連授業

民俗文化論 / 民俗文化論の諸相 / 民俗文化論の展開

文明論 1 春

関連授業

文明論 2 / 文明論の諸相 / 文明論の展開

芸術と文化 春

関連授業

芸術文化論 / 芸術文化論の諸相 / 芸術文化論の展開

今

人文地理学概論 A・B 秋

関連授業

なし

宗教学概論 A・B 春

関連授業

なし

比較文明論 1 秋

関連授業

比較文明論 2 / 比較文明論の諸相 / 比較文明論の展開

日本思想と文明 秋

関連授業

日本思想 / 日本思想の諸相 / 日本思想の展開

東

春 …春学期開講授業

秋 …秋学期開講授業

## 学科開講授業 ポジショニングマップ

文明学科が開講している講義を古今東西にマッピング。履修で迷っている学生はぜひご利用ください。

※2024年10月時点、2022年度文学部授業要覧の情報を基に作成しています。

古

## CIVILIZINE

Editor/Editorial Designer      Yuka Jibiki  
Editor/photographer            Yuna Matsushita

@東海大学 文学部 文明学科  
2024.11.03

本誌は、「第70回東海大学建学祭学科企画(Searching 文明学科)」の  
支援によるものです。

### Yuna Matsushita

今回のZINEの制作は1人では  
確実に計画から実行まで遂行で  
きなかったと思う。それは、企画を  
立案して押し進めてくれたゆうか  
ちゃんがいたからもそうだし、イン  
タビューに答えてくれた先生方や  
学科の皆のおかげでもあります。

一生のうちで大抵の場合1度し  
か来ない、大学3年生という時に  
改めて自分の過ごしている学科  
の個性や明るさを体感することが  
出来て本当に良かったです。

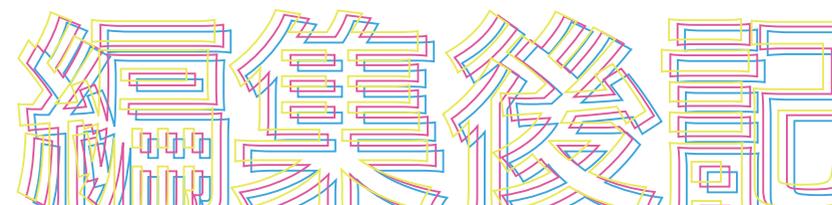
少しでも見ていて楽しい読み  
物になりますように。

### Yuka Jibiki

ひよんなことからこのZINE企  
画が始まり、文明学科の学生や先  
生方のご協力をいただきながら、  
やっと形にすることができました。  
多様な学生と先生方が在籍して  
いる今の文明学科を示したい、記  
録として残したい、そんな思いを  
抱きながら製作してきました。

入学時を振り返ると、実態を  
ほとんど知らないまま文明学科  
に入ってしまったことを思い出し  
ますが、この企画が実現したよう  
に、文明学科だったからこそ(?)自  
分なりにやりたいことをやったり、  
マイペースに生きてこられた気  
がします。その一端として製作した  
『CIVILIZINE』ですが、誰かの人  
生の道しるべやモチベになれば  
嬉しいです。

ここまでお読みいただきあり  
がとうございました。



***CIVILIZINE***



***CIVILIZINE***